

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況と効果検証

No.	①事業名	②事業概要	③対象	④事業実績(経費内訳)	⑤効果・検証	⑥事業始期	⑦事業終期	⑧事業費(円)	⑨うち交付金(円)	⑩担当課
1	外出自粛食糧支援事業	不要不急の外出自粛を呼びかけているため、村内全世帯にコメを配布し不用不急の外出を自粛してもらう。また、小中高等学校休校により家での食糧消費が多いため支援を行う。	村内全世帯及び小中高生がいる世帯	コメ購入費及び配達料 ①コメ 720袋:3,732,480円 ②配達料 616戸:338,800円	全世帯に米を配布したことで、外出自粛の推進のほか、感染拡大の防止、家庭の精神的負担や経済的負担の軽減につながった。	R2.5	R2.8	4,071,280	4,070,000	ふるさと振興課
2	感染防止用品配布事業	感染防止用品(マスク、消毒液)を村内全世帯に配布し、感染防止対策を講じる。	村内全世帯、保育所入所児、小中高生、村外在住職員・教員	マスク・消毒液購入費、配達料、消耗品費 ①マスク購入 2,000枚×16ロット:1,760,000円 ②小中高生布マスク・保育所布マスク:240,240円 ③消毒液購入 1,300個:1,034,700円 ④ビニール袋・スプレーボトル:3,206円 ⑤配達料 616戸:169,400円	当時、高価で入所困難だったマスクやアルコール消毒液をいち早く全世帯に配布したことで、村民の感染拡大防止につながるとともに、安心安全が図られた。児童生徒の基本的な感染予防対策の徹底を図ることができた。	R2.5	R3.3	3,207,546	3,200,000	住民健康課
3	保育所児幼児用教材配布事業	保育所児に登園の自粛を呼び掛けているため、家庭で使用する絵本・塗絵を配布する。	保育所入所児	絵本・塗り絵の購入 ①絵本46冊:57,112円 ②塗絵50部:8,800円	登園自粛中の保育所乳幼児に絵本・塗り絵を配布することで自粛の推進が図られるとともに、感染拡大の抑止につながった。また、家庭において安心して育児ができる支援ができた。	R2.5	R2.7	65,912	0	住民健康課
4	農産物等出荷準備金支給事業	道の駅どうしの休業により農産物等の出荷が出来なくなった出荷者に対して、生産意欲の向上を図るとともに農産物等の出荷継続支援のため準備金を支給する。	道の駅どうしへ農産物等を出荷している個人	農産物等出荷者への準備金支給 ①準備金100,000円×12名 50,000円×11名 30,000円×7名:1,960,000円	コロナ禍の影響で売り上げが減少している農産物を出荷者に準備金を支給したことで、生産意欲の維持・向上につながるとともに事業活動を守り抜くことができた。	R2.5	R2.8	1,960,000	1,960,000	産業振興課
5	持続化交付金申請事業支援金交付事業	国の持続化交付金事業申請にかかる事務の支援を、商工会・観光協会・道の駅が行う場合の支援金。	商工会、観光協会、道の駅	作成支援のための事務手数料 ①手数料59件:177,000円	商工会・観光協会が国の持続化交付金申請の事務的な支援をすることで、村内59の事業者が持続化交付金を受けることにつながった。	R2.5	R3.3	177,000	177,000	産業振興課
6	大学生等新型コロナウイルス感染防止支援給付金	就学困難または就学困難の恐れがある大学、大学院、短期大学及び専門学校等に就学する者に対して学資支援を目的とした給付金を給付する。	大学、大学院、短期大学及び専門学校等に就学する者の保護者	大学生等に対する学資支援給付金 ①給付金32名:1,600,000円	就学が困難な大学生等に対して、給付金を給付したことで、経済的負担や精神的な不安への軽減が図られた。また、大学生等においては、家計の急変やアルバイト収入の減により、経済的負担は著しく、就学の継続も危ぶまれることから保護者の満足感が高い。	R2.5	R2.8	1,600,000	1,600,000	教育委員会
7	広報紙直送事業	行政連絡員(自治会長)に依頼している村広報誌の配布を郵便による直送とすることで、接触機会の軽減を図り、感染予防を行う。	村内全世帯	広報誌の郵送代 ①6か月 635世帯:138,316円	コロナ禍における広報配布に対し直接郵送することで、人と人との接触が避けられ、感染拡大の防止につながった。	R2.4	R2.12	138,316	0	ふるさと振興課

8	子育て世帯支援事業	新型コロナウイルスの影響を受けている子育て世帯を支援するため、学童保育料の免除・小中学生の給食費無料化を行う。	学童保育入所児、小中学生	学童保育料・小中学校給食費に充当する。 ①学童保育料:372,000円 ②小学校給食費:2,839,500円、 中学校給食費1,984,920円	学童保育量の免除を行うことで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。 学校給食費の無償化を行うことで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。	R2.4	R3.3	5,196,420	5,150,000	住民健康課教育委員会
9	公共施設等の管理維持体制持続化事業	新型コロナウイルス感染防止のため、営業自粛を要請している公共施設等に対して営業再開後等の準備として支援金を給付する。	公の施設の指定管理者	指定管理者への支援金給付 ①感染防止等支援金 9,486,000円	感染防止対策の費用を支援したことにより、指定管理者の負担軽減が図られたほか、施設の安全安心な管理運営につながった。	R2.6	R3.3	9,486,000	9,486,000	産業振興課
10	地域環境整備事業	新型コロナウイルス感染防止のための移動自粛によって、減少した村内への観光客を呼び戻すため、国道沿いや道志川沿いの街路樹の整備等の村内環境整備を行い、村の魅力を高める。	林業従事者等	景観間伐委託料 ①景観間伐委託料:13,962,300円 ・(久保地区):1,727,000円 ・(白井平地区):4,700,300円 ・(和出村地区):7,535,000円	移動自粛によって、減少した観光客を呼び戻すための事業であるが、依然として移動自粛は継続されている。一方、キャンプ業を中心として新たな観光スタイルの兆しがある中で、村内の景観環境整備は村の魅力を高めることにつながっている。また、林業従事者の雇用の維持と事業継続に寄与できた。	R2.11	R3.3	13,962,300	13,962,000	産業振興課
11	道志村新生児子育て応援臨時給付金事業	国の特別定額給付金給付事業基準日の翌日から令和3年4月1日までに出生・転入した出生児の保護者に出生児1人あたり10万円給付する。	出生児の保護者	①給付金:100,000円	国の特別定額給付金給付事業基準日の翌日から令和3年4月1日までに1名の新生児が誕生した。給付金を給付したことにより、保護者の精神的負担や経済的負担の軽減につながった。	R2.8	R3.4以降	100,000	100,000	総務課
12	道志村水源の郷地域活性化商品券支給事業	新型コロナウイルス感染拡大により観光客が減少し、村内経済活動が停滞している。村民に対し、村内登録店で使用できる商品券を1人1万円分交付し、地元消費の拡大と地域経済の活性化を促す。	村内に住居登録のある住民、令和3年2月28日までに村内に住居登録された者	商品券、印刷代、郵送代、消耗品費 ①商品券換金:15,995,000円 ②消耗品費:16,949円 ③印刷代(商品券)1,700部:486,200円 (ポスター)100部×2種:63,800円 550,000円 ④郵送代 簡易書留:303,014円	村内経済活動が停滞している中で、67の事業者が取扱店として登録(プレミアム商品券時25事業者 2.7倍)するとともに、商品券使用率は96.47%となった。地元事業者の応援により、地域経済の活性化に寄与できたと評価できる。また、村民の経済的負担の軽減にもつながった。また、村民アンケートから再度実施を期待する声も多くある一方で、「村内では使える商店が限られている」や「商品券でなく現金支給を望む」といった声も寄せられている。	R2.8	R3.3	16,864,963	16,864,000	ふるさと振興課
13	ICT機器整備事業	新型コロナウイルス感染症対策として、リモートでの会議、在宅勤務等に対応するため、ICT機器整備を行い事務執行に支障のない体制の構築を図る。	庁舎及び公共施設	在宅勤務・WEB会議用PC等購入費 ①ヘッドセット購入費:15,400円 ②PC購入費:3,253,030円 ③モニター・スタンド・スピーカー・カメラ購入費:158,950円	リモートワークシステムを導入したことにより、コロナ禍における感染症対策のほか、分散勤務等によるリスク分散を図るための環境が整備でき、新たな働き方の創出にもつながった。	R2.8	R3.3	3,427,380	3,427,000	教育委員会
14	タブレット端末導入事業	オンライン会議等の環境整備、通知や資料等のペーパーレス化を行い感染防止対策を図る。	庁舎及び公共施設	タブレット購入費 ①タブレット端末12台:2,212,320円	オンライン会議の環境整備を行ったことにより、コロナ禍における感染症対策のほか、ペーパーレス化に寄与する環境が整備でき、新たな働き方の創出にもつながった。	R2.8	R3.3	2,212,320	2,212,000	ふるさと振興課

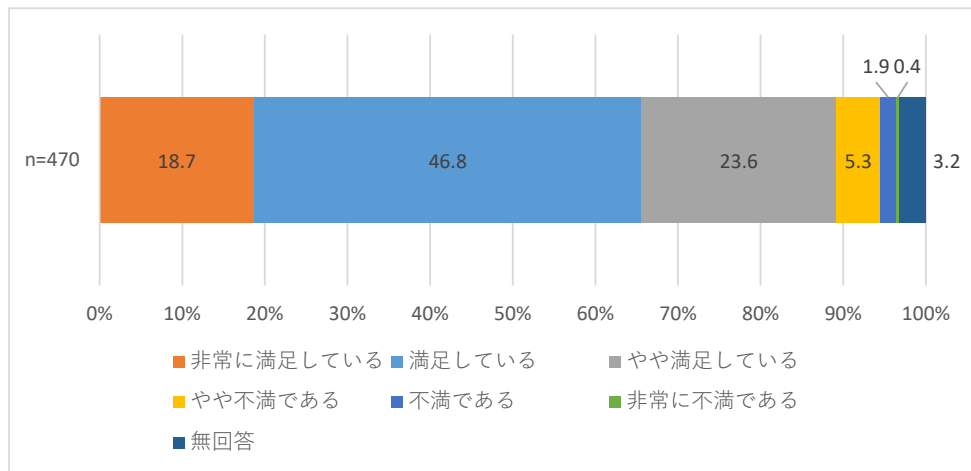
15	感染防止備蓄品整備事業	新型コロナウイルス感染症の流行により、村備蓄衛生用品の消費が増加したため、感染の第2波第3波の流行に備え、感染防止備蓄品の整備を行う。	庁舎	サージカルマスク、防護服、消毒液等購入 ①遺体収納袋:107,800円 ②消毒用アルコール:225,830円 ③スプレーボトル:11,685円 ④防護用キャップ:10,450円 ⑤センサー式消毒台:21,560円 ⑥アルコールジェル:576,400円 ⑦マスク:204,133円 ⑧アイソレーションガウン:118,800円 ⑨発熱者搬送車用ビニールシート:1,568円 ⑩使い捨て手袋:4,446円 ⑪シャポネット:10,845円	村備蓄衛生用品の消費が増加しているため、新たに備蓄品を整備したことにより、村民や村公施設の安全安心な管理運営につながった。	R2.8	R3.3	1,293,517	1,290,000	総務課
16	インフルエンザ予防接種助成事業	新型コロナウイルス第2波第3波の流行に備え、医療機関の混乱防止や負担軽減を図るため、村民にインフルエンザワクチンの接種を積極的に勧奨するため、接種費用を全額助成する。	村民	インフルエンザワクチン接種助成 ①インフルエンザワクチン接種助成:2,535,950円 ②インフルエンザワクチン接種助成(償還払い):155,700円	インフルエンザ予防接種費用を全額助成することで、接種率の向上につながるとともに、医療機関への逼迫を防ぐことに寄与できた。	R2.8	R3.3	2,691,650	2,680,000	住民健康課
17	人間ドック受診助成事業	新型コロナウイルスによる影響で集団検診の開催日数が減少したため、人間ドック費用に助成を行い個別検診の受診勧奨を行う。	村民	人間ドック受診助成金 ①人間ドック助成金45名:966,000円	コロナ禍において、集団検診の受診機会を逃した方のために、通常の助成に加え、上乘せ助成を実施したことにより、45名が人間ドックを受診することができ、安心につながった。	R2.4	R3.3	966,000	966,000	住民健康課
18	感染防止用品配布事業(法人・個人事業主)	法人・個人事業者等にマスク、消毒液、検温器等感染防止用品を配布し、従業員、来客者等の感染防止対策を講じる。	事業所150件	マスク、消毒液、検温器などの購入費 ①サージカルマスク760箱:1,922,800円 ②消毒用アルコール300本:613,800円 ③検温器150個:900,000円	村内の法人や個人事業者に対し、感染防止用品を配布したことにより、従業員や来客者の安心につながることができた。	R2.8	R3.3	3,436,600	3,436,000	産業振興課
19	常設消防感染防止対策事業	常設消防活動における感染防護服、吸引器、オゾン発生装置等を整備し、消防・救急活動時の新型コロナウイルス感染症感染防止対策を図る。	消防出張所	救急業務時感染防止資機材等の購入費 ①感染防護服整備:368,280円 ②救急車用オゾン発生器整備:302,060円 ③感染防止資機材整備:418,990円	消防出張所に救急業務時の感染防止資機材を整備することで、村民や救急隊員の安心・安全な環境整備ができた。	R2.8	R3.3	1,089,330	1,089,000	総務課
20	子育て世帯支援事業(ICT通信環境支援)	学校休校中のリモート授業等の際、家庭に通信環境が整備されてなく授業に参加できない児童・生徒のいる家庭に対して、通信環境整備の費用を支給する。	準要保護児童就学奨励事業該当者	通信環境整備補助金:40,000円	家庭に通信環境が整備されてなく授業に参加できない児童・生徒のいる家庭に対して、その費用を補助したことで、安心して学ぶことができる環境が整備できた。	R2.8	R3.3	40,000	0	教育委員会
21	高校生通学助成金支給事業	新型コロナウイルス感染症での休校を補うべく、例年だと夏休みである7～8月に登校を余儀なくされた高校生の保護者に対して、2ヶ月の通学費の支給を行う。	高校生の保護者	通学費 ①20,000円×39名	本村の高校生は30分以上かけてバス通学をしているが、休校を補うために夏季休暇中も登校を余儀なくされ、登校時間も学年やクラス単位で分散されたことにより、バス通学ができず保護者の送迎が必要となったことから、通学費を支給することで経済的負担と精神的負担の軽減につながった。	R2.8	R3.3	780,000	780,000	教育委員会
22	小中学校校内感染防止対策事業	学校内での感染防止対策を図るため、自動水栓装置や学校机飛沫防止ガードなどの設置を行う。	小中学校	小中学校感染防止整備費 ①自動水栓装置設置費:847,000円 ②検温器10個:60,000円 ③サーキュレーター16台:167,200円 ④冷却ベスト:29,260円 ⑤学校机飛沫防止ガード:61,750円 ⑥図書館感染症対策用品:21,716円	小中学校に感染防止対策を整備したことにより、校内の感染防止対策が図られるとともに、児童生徒の体調管理の徹底につながった。	R2.8	R3.3	1,186,926	1,165,000	教育委員会

23	学校臨時休業対策費補助金	学校臨時休業により注文した給食材料のキャンセルに伴う、納入業者への支援を行う。	給食納入業者	学校給食納入業者3社に対して補助金を交付した。:45,159円	学校給食関係事業者の事業経営の安定に寄与した。	R2.4	R2.9	45,159	0	教育委員会
24	GIGAスクール端末導入事業	国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の実現を図る。	小中学校	①端末整備費(単独事業):2,914,528円	1人1台PC端末の実現により、ICT環境の基盤が整備できた。コロナ禍における休校の際にも端末を持ち帰り、オンライン学習をすることができた。	R2.8	R3.3	2,914,528	2,914,000	教育委員会
25	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開等にあたり集団感染のリスクを避けるため、マスクを購入する。また、新型コロナウイルス感染症の第2波第3波の流行に備え、児童が密を避けて授業を受ける環境を整備しておく必要があることから、特別教室でも児童が快適に授業が行えるよう、特別教室にエアコンを設置し、児童生徒が感染予防対策をとった上で授業が行える体制を整備する。	小中学校	学校保健特別対策事業費補助金の補助金超過分 ①マスク購入費:30,800円 ②エアコン設置工事:18,689,000円	小中学校に感染症防止対策を整備したことにより、校内の感染防止対策が図られるとともに、児童生徒の体調管理の徹底ができ、学びの支援につながった。	R2.5	R3.3	18,719,800	17,700,000	教育委員会
26	体験農園活用推進事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により家で過ごす時間が増加していることを背景に、自家栽培農作物への関心が高まっている。体験農園における体験を通じて自家栽培農作物へのきっかけを作り、自家栽培農作物による自家消費という新しい生活様式の確立を目指す。	体験農園、農園利用者	貸出用農機具・機械の整備 ①トラクター等購入費:1,986,000円 トラクター1台:1,800,000円、 マメトラ2台:93,000円	トラクターやマメトラを購入したことで、家で過ごす時間が増加していることから比較的ソーシャルディスタンスが図られる農作物の自家栽培を推進するきっかけができた。自家消費という新しい生活様式の確立につなげていく必要がある。	R2.8	R3.3	1,986,000	1,986,000	産業振興課
27	災害時避難所環境整備事業	災害時の避難所での密を避けるため、準避難所となっている地区公民館等の修繕を行い、避難所としての機能を強化し活用していく。	公民館等	公民館等修繕費 ①修繕費:4,082,782円 月夜野公民館床修繕:1,623,600円、 林業集会所床修繕:1,538,460円、 生活改善センター床修繕:920,722円)	災害が発生した際の避難所の受け入れ態勢の整備を行ったことで、密を回避できるようになっている。災害時に確実な感染症対策が行えるよう努める必要がある。	R2.8	R3.3	4,082,782	4,082,000	教育委員会
28	道の駅どうし売り場改修工事	本村は村内にコンビニやスーパー等がないため、多くの村民が食料品や生活必需品の大部分を村外に買い出しに出かけている状況にある。道の駅どうし店舗を改修し、食料品や日用品の販売コーナーを設けることによって、村外へ出かけることなく村内で買い物を完結できるため、村外への不用不急の外出を減らし、コロナ感染リスクを抑制することが期待できる。	道の駅どうし	道の駅売り場改修工事 ①工事請負費:19,558千円	近隣の市町村においてコロナ感染者が発生している中で、村内で日用品を購入できなかった村民にとっては、村内で買い物完結できるようになったことは大きな精神的負担の軽減につながった。また、不要不急の外出自粛にもつながり、「村内感染者ゼロ」の大きな要因と言える。	R2.8	R3.3	19,558,000	19,558,000	産業振興課
29	保育所感染防止対策事業	保育所内での感染防止対策を図るため、自動水栓装置の設置を行うとともに、空気清浄器、加湿器等を設置する。	保育所	保育所手洗い設備改修等 ①修繕費:391,910円(手洗い設備改修) ②加湿機能付き空気清浄機購入5台:378,400円	保育所施設の手洗い場を自動水栓装置に変えたことで、直接触れず衛生面での効果が高まり、子どもたちの感染症防止対策につながった。また、加湿機能付き空気清浄機を整備したことで、感染防止対策の強化が図られた。	R2.12	R3.3	770,310	770,000	住民健康課

30	農泊地域魅力磨き上げ事業	新型コロナウイルス感染症の影響による農泊需要の減少や、新しい生活様式による旅行需要に対応するため、農泊施設が行う新たな需要への対応に要する経費を助成する。	農泊施設	農泊施設が行う宿泊・体験コンテンツの磨き上げに係る費用に対する補助 ①補助金:977,963円	農泊受入れ施設が行う宿泊・体験コンテンツの磨き上げやワーケーションの推進に対する経費を補助したことで、収束後に備えた新たな事業創出につながった。	R3.1	R3.3	977,963	466,000	産業振興課
31	小児救急医療体制確保事業	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少のため、経営がひっ迫している小児救急センターに対して県内全ての市町村が追加の負担をすることによって、小児救急医療体制の維持を行う。	小児初期救急医療センター	小児初期救急センターへの負担金 ①追加負担金 国中地域分:55,813円 富士・東部地域分:282,976円	コロナ禍における小児救急医療センターは、利用者の減少によって経営がひっ迫していることから、負担金として支援を行うことで、事業の継続に寄与できた。	R2.8	R3.3	338,789	338,000	教育委員会

### 村民アンケート調査

道志村がこれまで実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の主な事業をどう評価するか(SA)



	n	%
非常に満足している	88	18.7
満足している	220	46.8
やや満足している	111	23.6
やや不満である	25	5.3
不満である	9	1.9
非常に不満である	2	0.4
無回答	15	3.2
	470	100.0

道志村がこれまで実施してきた新型コロナウイルス感染症対策の主な事業について、「満足している」が46.8%、「やや満足している」が23.6%、「非常に満足している」が18.7%となり、これらを合わせた「満足派」が89.1%と約9割を占め、村民はこれまでの村の施策に満足していることがうかがえる。  
年齢別にみると、満足派は「18歳～29歳」で97.6%、「40歳～49歳」で93.3%、「70歳以上」が90.7%と高くなっている。